



ねん りょうり きん 1年 さつまいも料理 11/18 (金)

1年生は、生活科の学習で、6月に学校の畑にさつまいもの苗を植え、育ててきました。そして、10月に土を掘ってみると、ゴロゴロと大きなさつまいもが出てきました。そのさつまいもを使って、国語で観察文の書き方の学習をしました。

最後は、お料理。エプロンとバンダナをつけて、小学校では初めて料理をしました。蒸したさつまいもをつぶして、ラップで茶巾絞りにしました。ラップを切ることも勉強です。使った道具を洗って片付けることもしました。自分で育て、自分で料理したさつまいもは「口の中ですとろけるほど」おいしかったようです。



がっきゅう こうさく もく ほほえみ学級 どんぐり工作 11/24 (木)

ほほえみ学級では、三重県地球温暖化防止活動推進員の方をゲストティーチャーにお迎えし、自然の材料〈秋の木の実〉を使って工作をしました。自然のものであるどんぐりや松ぼっくりは一つ一つが違った形や大きさをしています。その中からどれを使うとよいか、どのように組み合わせるとよいかを考えるのは、とてもおもしろいですが、とても難しくもあります。子どもたちは、作るもののイメージが頭にはっきりと浮かんでくるようで次々と作業を進め、一人一人が違ったものを楽しんで作ることができました。ゲストティーチャーの方も、「あの発想は自分にはなかったなあ」と豊かな発想に感心してみえました。このような経験の積み重ねが、子どもの創造力を高めていくことを感じました。



ねん もく 4年 音楽会 11/24 (木)

近年、新型コロナウイルスの影響で中止されていた鈴鹿市小学校音楽会が、今年は3年ぶりに開催されました。本校からは、4年生が代表として出場しました。出場に向けて2学期初めから、合唱「ぼくの太陽」と合奏「リメンバー・ミー」の2曲の練習を重ねてきました。

本番の前には学校で、1・2・3年生に披露しました。とてもうつくしいハーモニーと迫力のある合奏を聴いて、1年生の子が「涙が出そうになるくらい上手でした」と感動を伝えていました。

本番では、イスのサンケイホール鈴鹿（鈴鹿市民会館）の大きな舞台上、物怖じすることなく堂々と発表してきました。他校に比べ人数が少なくても、それを感じさせない迫力のある合唱と合奏でした。

「ぼくの太陽」の歌詞が素敵で、それに4年生の温かくて優しく、そして力強い歌声がぴったりで、心に深く響いてきました。4年生の子どもたちの心にもいつまでも残り、これからの心の支えになるのではないのでしょうか。



ぼくの太陽 作詞・作曲：桐野知子

君が見せてくれた いくつもの場面
すべてがつながって ここまでの道になった
たくさんの出合いを つみ重ねながら
どれだけ大きくなれたかな
目の前のことに夢中だった 小さなぼくだけど
見守られてきたことに 気がついたよ
そっと支えてくれた 君にとどけたい
抱えきれないほどの ありがとうの気持ち

君が教えてくれた いくつもの言葉
体にしみこんで 胸の中で生きている
たくさんの気持ちを ぬり重ねながら
どれだけやさしくなれたかな
自分のことでいっぱいだった 小さなぼくだけど
だれかを思う気持ちが 芽を出したよ
君が育ててくれた 大切なつぼみ
いつか大きな花を 咲かせてみせるから

君は ぼくを照らしてくれる太陽

そうとくちゅうがっこうくかくだいがっこううんえいきょうぎかい 創徳中学校区拡大学校運営協議会

けん だい かがっこううんえいきょうぎかい もく 兼 第4回学校運営協議会 11/17 (木)

創徳中学校区の小中学校（創徳中・飯野小・牧田小・清和小）の学校運営協議委員が一堂に会する拡大学校運営協議会が開催されました。子どもたちの状況や課題を共有し、小学校から中学校までの長いスパンで地域の子どもたちを見守り支えていこうという趣旨で、この中学校区では初めて開催されました。

鈴鹿市教育委員会教育支援課の橋本伸清さんに「子どもたちの心のエネルギーを高めるために～子どもたちの現状をふまえて～」をテーマにご講演をいただきました。その後、各学校の委員が混じったグループで、この地域の子どもたちの気になる状況や周りの大人ができること等を話し合いました。これを契機に、中学校区の学校運営協議会の連携を図っていきたいと思います。

